

私たちの西地域

中津西
まちづくり
協議会



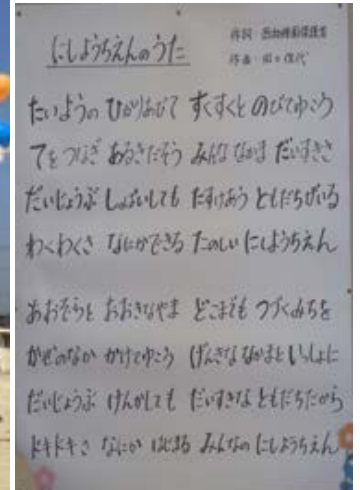
<https://nishi-machikyo.com>

手賀野 (手賀野上区, 第1区, 第2区, 会所ヶ丘区)

駒場 (第3区, 後田区, 松源寺区, 大峽区, 共栄区, 第4区, 第5区, 西ヶ丘区, 大平区, 山手区, 桃山区, 第6区, 第23区)

西幼稚園から中津川幼稚園へ！

～昭和9年からの歴史 みんなの思いを込めた風船が大空に～



西幼稚園の歌



小栗市長の挨拶



園児のみんなが元気よく歌を披露



楽しかった幼稚園の様子を絵に

子どもの減少に伴い、中津川・南・西の3つの幼稚園が令和6年度から統合され、南幼稚園を「中津川幼稚園」として名前を変えて新しい園がスタート。(西幼稚園園児数 18人 R6/3現在)

3月25日、西幼稚園の閉園式は思い出のつまった遊戯室で、園児や保護者、小栗仁志市長ら来賓やPTA会長、教育委員会の皆さんで行われました。

市長からは「皆さんには色々な思い出があると思います。これからも先生たちや友達と出会いがあるので、一緒になって学んだり、遊んだりできます。頑張ってください」とお話がありました。西幼稚園の卒園生でもある原 善治区長会長も挨拶の中で、西地域のまちづくりを進めているので、みんなも大きくなったら一緒に良いまちにしていましょうと呼びかけがありました。園児の合唱のあと、参加者全員が運動場に出て、色とりどりの風船を快晴の空へ飛ばしました。ずっと上っていく風船をみつめる笑顔いっぱいの閉園式は、とても印象的でした。

※この広報は市の「地域一括交付金」を活用しています



中津西まちづくり協議会総会を開催しました

令和6年4月25日、商工ホール（商工会議所）で西地区の区長や代議員の出席により総会を開催。

来賓として、地元市議や市定住推進部（部長・次長・中津事務所長）に来ていただき、祝辞、紹介のあと、議案の令和5年度事業報告と決算、令和6年度事業計画と予算、そして役員が承認されました。

令和6年度の役員と各部会の活動は、次のとおりです。

原 善治（会長）、安藤史郎（副会長）、田島雅子（副会長・住民福祉）、渡邊好夫（総務）、齊藤祐三（安全安心）、小川弘美（文化スポーツ教育）、小栗 康（会計）、輪湖明夫（監査）、林 茂富（顧問）



◎総務部会

- * 地域版広報「私たちの西地域」の発行
- * ゴミ減量に取り組む先進地の視察、区長会と連携した環境活動
- * 中京学院大学ゼミへの協力
- * 住民アンケートの集計、分析
- * 市政懇談会及び要望への対応
- * 地域一括交付金及びコミュニティ助成等の対応

◎安全安心部会

- * 西地区の防災体制づくりの推進
- * 危険個所の点検及び関係機関への改善要望
- * 見守り・災害時協定の推進
- * 防災イベントの後援

◎住民福祉部会

- * “より場・ごはん場 ほっかほか”（子ども食堂）の取り組み
- * 民生児童委員、福祉推進委員との意見交換
- * 西地区内児童施設、高齢者施設、サロン等の把握と見学、支援の検討
- * 部会組織の強化と部会員増員

◎文化スポーツ教育部会

- * 小学校及び中学校のコミュニティ・スクールへの協力
- * 西小学校と「夏休み子どもと大人の作品展」共催
- * 中央公民館の西地区歴史等ウォーキング及び各地区講座開催への協力
- * 多世代交流を推進するための各区行事等支援（講師派遣）

●地域の子どもや大人が一緒にお昼ご飯を食べる「より場・ごはん場 ほっかほか」を開催

中津西まちづくり協議会（住民福祉部会）が西小、一中、各区の回覧板でお知らせし、地域ボランティアの協力を得て3月31日に山手クラブで開催しました。

当日は予約を含めて44名（うち子ども22名）、スタッフ16名、見学者11名でした。ゲーム、中津商業高校の生徒が描いてくれたキャラクターや美味しく食べる姿のイラストへの投票など、家族や友だち、近所の人とお話ししながらの楽しい食事会となりました。

今回、初めての取り組みということもあり、この結果をみんなで話し合い、中津西まちづくり協議会の事業とは別の形で展開すること

も視野に入れながら、皆さんの声を聞いていきます。



中津商業高校生のイラスト



みんなと一緒にカレーライス



●西地区区長会の総会で令和6年度の役員が決まりました (敬称略)



西地区区長会役員

区長会長 原 善治
副会長 安藤史郎
副会長 輪湖明夫
会計 岡本幸宏
書記 加藤修己
監事 北村忠夫
顧問(市議会議員)
鷹見信義
榎松直子



区長の皆さん ※下線は新区長です

手賀野上区：萩 義弘 第1区：安藤史郎 第2区：岡本幸宏 会所ヶ丘区：片山宏貞
第3区：輪湖明夫 後田区：渡曾 譲 松源寺区：竹節 敏 大峡区：北村忠夫 共栄区：山口光司
第4区：佐藤光司 第5区：原 善治 西ヶ丘区：谷口陽一郎 大平区：石原 守 山手区：粥川正司
桃山区：加藤修己 第6区：石田 学 第23：長瀬猛夫

その他の役員・委員

*西地区社会福祉協議会

理事：長瀬猛夫・谷口陽一郎・石田 学・片山宏貞 監事：原 善治・安藤史郎

*体協西支部 副支部長：安藤史郎

*リニア対策部会 会長：山口光司 部会員：長瀬猛夫・粥川正司・石原 守・竹節 敏

*ぎおんぱジャンボリー担当

委員長：原 善治 事務局長：加藤修己 委員：輪湖・安藤史郎・萩 義弘・渡曾 譲

*中津地区災害対策協議会 副会長：加藤修己 監事：佐藤光司

*中津川市がんばるサポート事業 委員：片山宏貞・石田 学・渡曾 譲

●令和6年度コミュニティ助成の交付が決まりました

昨年秋に中津西まちづくり協議会が市を通じて(一財)自治総合センターへ要望していた助成金の内示がありました。これは、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品整備などに対して助成を行い、地域コミュニティ活動の充実・強化を図るものです。

中津西まちづくり協議会は、まだ協議会を設立して間もないこともあり、屋外イベントのためのテントや机、椅子、音響や照明機器などを持っていませんでした。

この助成金で、屋外イベントで使用する音響機器(アンプ、マイク)や照明機器(LED投光器)、ポータブル電源(ソーラーパネル)、テント、机、椅子などを整備する予定ですので、多くの地域住民が参加できるイベントを安心安全に開催でき、また今まで開催が難しかった行事にも対応できるようになります。

今年8月14日に予定されているギオンジャンボリーには、実行委員会メンバーとして中津西地区の中学生も参加します。昨年、中学生と保護者を対象にアンケートを行ったなかで、音響・照明の質を向上してほしいとの声が多くありました。中津西まちづくり協議会もギオンジャンボリーを応援するため、このコミュニティ助成で整備する備品を実行委員会でもらおうと考えています。



●中津西地区からの要望書に対して市から回答がありました

【要望と主な回答】

- | | | |
|-------------------------------|--|--|
| 1 危険箇所等の改善について | | |
| (1) 国道257号の通学路の安全対策 | ◆青木交差点～山手交差点のガードパイプ設置は令和6年3月に工事発注、順次整備します(恵那土木事務所) | |
| (2) 青木斧戸線の横断歩道設置 | ◆中山道交差部分に設置しました(中津川警察署) | |
| (3) 国道257号線から市道西山線交差点での大型街灯設置 | ◆恵那土木事務所に伝えます | |
| (4) 一般用水路から中津川へのバイパス排水路整備 | ◆整備が可能か検討します | |
| 2 道路整備について | | |
| (1) 青木斧戸線の南方向延伸 | ◆事業化の予定はありません | |
| 3 河川用水路について | | |
| (1) 京田用水取水口の改良 | ◆取水口への通りを阻害する堆積土を移設します(恵那土木事務所) | |
| (2) 取り壊された前川の橋(通称:若宮橋)の人道橋設置 | ◆早期対応は困難です | |
| (3) 手賀野地区内の市道側溝(排水路)の整備、改良 | ◆整備が可能か検討、緊急箇所は補修します | |
| 4 上下水道について | | |
| (1) 第23区内の上下水道延長と消火栓敷設工事 | ◆整備の予定はありません | |
| (2) 手賀野上区内の下水道未設置地区の整備工事 | ◆住んでいる人の意向調査から進めます | |
| 5 拠点施設及びまちづくり活動について | | |
| (1) 西幼稚園舎を“公設民営”の公民館西分館に | ◆整備の予定はなく学童保育で利用します | |
| (2) 人的支援の拡充 | ◆市職員の確保も厳しく困難であり集落支援員制度で支援します | |
| 6 その他 | | |
| (1) 通学路上のトイレ設置 | ◆設置の計画はありません | |
| (2) 手賀野公会堂を地区公民館として位置づけ、整備 | ◆位置づけていく考えはありません | |

●今のまち風景 「獅子舞」 ～4年ぶりに桃山の女夫岩祭りで披露～

昭和34年、有志でつくった一匹の獅子。その後「女夫岩保存発展会」設立、ライオンズクラブからの桃山公園寄贈、女夫岩神社の社を造営、例大祭となっていくなかで、全国的にも珍しい親・子・孫の三代、全6頭の“桃山女夫三代獅子”が誕生し、毎年、披露されてきました。獅子舞は疫病を追い払う縁起の良いものとされますが、女夫獅子は夫婦や家族の愛、絆を表しています。獅子1頭は2人が息を合わせて舞うのですが、雄・雌で3対、そして笛や太鼓のお囃子も必要です。コロナ禍や少子化で練習にも苦労しながら、ようやく今年4月21日の女夫岩祭りで再演となりました。

